

男 女ともに頂点へ 明秀日立男女卓球部が県大会を制覇

明秀学園日立高校卓球部が、11月1日～3日に行われた県高校卓球新人団体戦で男女ともに全勝で優勝、大会2連覇を果たし、圧倒的な強さを見せつける結果となりました。男子卓球部主将の大貫尚哉さんは優勝という結果に、「新チームで初となる試合だったので、不安はありましたが、内容や雰囲気も良く自信になりました。昨年度の全国ベスト8を上回れるよう頑張ります」と喜びを語りました。両卓球部は、12月4日から栃木県で開催される関東大会へ出場します。



土砂崩れを想定した救出・救護訓練の様子（市消防本部）

い つか来る災害に備えて 日立市総合防災訓練を実施

11月5日、市の総合防災訓練が行われ、市職員をはじめ、市民や消防・医療機関など約700人が参加しました。訓練は久慈川が氾濫危険水位に到達した想定で、神田町洪水避難タワーへの避難経路の確認や久慈中学校などでの避難所開設訓練などを実施しました。また、市消防本部では土砂崩れを想定した救出・救護訓練（大規模災害事故対策訓練）を実施し、訓練を通して各関係機関の連携強化や市民の防災意識の向上が図られました。

日 立の魅力を発信 BS よしもと番組に出演

10月27日、各地域を紹介するBSよしもとの番組「Cheeky's a GoGo!」に日立市代表としてひたち若者かがやき会議のコアメンバーなどが出演しました。番組は、テーマに沿って2つのまちが魅力を紹介しあうもので、日立市とひたちなか市が対戦しました。コアメンバーらは、「かみね公園」、「日立中里フルーツ街道」、「ひたち BRT」をパネルを用いて紹介し、見事勝利するなど、日立市の魅力を発信しました。



市 営滑川団地の建て替えが 国土交通大臣表彰を受賞

市営滑川団地（7～10号棟）建替事業が、住意識の向上などに寄与した個人や団体を表彰する「第34回住生活月間功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。市営滑川団地（7～10号棟）は、子育て世帯と高齢者世帯が隣り合う住戸配置とするなど、日常生活の中で自然に交流が生まれ、高齢者の孤立を防ぎ、子どもの見守りができる点が評価され、受賞となりました。

お いしいリンゴへのこだわり 源ちゃん農園が県の特別栽培農産物に認証

「源ちゃん農園」(下深荻町)の一部園地で栽培するリンゴが県の特別栽培農産物の認証を受けました。特別栽培農産物は、化学肥料や化学合成農薬を削減するなどの条件を満たして生産された農産物を認証するもので、県内のリンゴ園としては、初めての認証となりました。認証を受け、代表の與澤 巧さんは「これまでの取り組みが県の認証という形になりうれしい。今後もさまざまな工夫をして、中里のリンゴを次の世代に残していきたい」と語りました。



都 大路を駆ける 茨城キリスト高が県大会優勝&全国へ

10月27日、茨城キリスト教学園高校が、第34回全国高校駅伝徒競走大会県予選で優勝し、見事全国への切符をつかみました。1区から首位を守り続ける圧巻の走りを見せ、3連覇を達成。12月25日に京都府都大路で開催される全国大会に向け、主将の後藤凜那りんなさんは「課題を見つけて克服し、もっと強くなって全国大会に挑みたい」と意気込みを語りました。

命 を救う行動 永山さん親子に感謝状

10月21日、日立警察署は、交通事故に遭う恐れがあった高齢者を保護したとして、明秀学園日立高校2年の永山悟宇ごううさんと母親の永山真澄まみさんに感謝状を贈りました。永山さん親子は、帰宅途中に車道を歩いている女性を発見・保護し、十王駅前交番まで送り届けました。感謝状を受け取り、悟宇さんは、「今後も困っている人がいたら助けられる、模範的な人を目指していきたい」と語りました。



初 めての栄冠 日立北高女子ソフトテニス部が県制覇

日立北高校女子ソフトテニス部が、11月6日に行われた県高校新人大会ソフトテニス女子団体において、初優勝を飾りました。新チーム発足時から目標としていた県大会優勝を果たし、主将の澳原心愛あきはろこさんは、「県優勝という目標を達成することができ、とても嬉しいです。ソフトテニスができることへの感謝の気持ちを忘れず仲間と共に次の目標に向かって頑張ります」と喜びを語りました。